



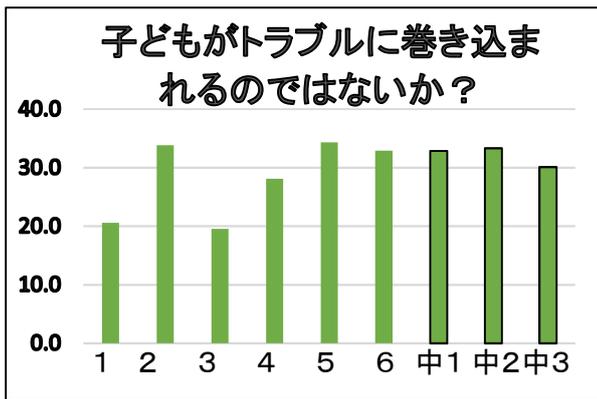
# NT5 ニュース

第4号  
令和元年11月27日発行

栃木西中・栃木中央小・栃木第五小養護教諭部会

大阪の小学6年生が小山市で保護されるという事件がおきました。犯人と女子児童はSNSで知り合ったという報道がされています。今後、詳細な事は明らかになると思いますが、ネットが絡んだ事件といえます。身近なところで起きた事件にびっくりされた方も多いのではないのでしょうか。

## 今回は「ネットトラブル等の予防について」特集です。



西中学区で保護者に行ったアンケートの中で『子どもがメディアに関するトラブルに巻き込まれるのではないかと？』という質問の回答結果です。



これによると、小学校で31.1%・中学校で31.9%の保護者が不安に思っていたようでした。

しかし、内閣府による調査結果を見ると、2016年度上半期にネットトラブルに巻き込まれた児童生徒は、警察が介入したものだけで約900件に上りました。その数は、年を追うごとに増えていく傾向にあります。身近なところでも、仲間外れなど友人同士のトラブルなどの話を聞くことが多くなってきました。被害者になるばかりではなく、

軽い気持ちで掲載アップした画像などで加害者になってしまうこともある事が報告されています。もしかしたら、保護者の皆様が思っている以上に、お子さんはネットトラブルに巻き込まれているかもしれません。トラブルを回避するためにどんなことが効果的でしょうか？

## スマホに必ずフィルタリングを入れる

2013年の法律の改正により、18歳以下の子どもが携帯電話やスマホなどを購入する時には、フィルタリング機能を入れることが保護者に義務付けられていることを御存じですか？ もちろん、保護者が購入した携帯やスマホをお子さんが使用する場合も、同様にフィルタリング機能を利用することが義務付けられました。これは、不適切な情報を含むWebサイトの閲覧を制限する仕組みです。しかし、携帯電話やスマホを持つ保護者のアンケート結果（警察庁：2016上半期）を見ると、738人中647人（87.7%）がフィルタリングを利用していなかったことがわかりました。別な調査でも、『子どもがフィルタリング機能を利用している』のは48.5%、『利用していない』45.5%、『利用しているかどうかわからない』のが16.6%でした。（MMD研究所：2018）皆さんの御家庭はいかがでしょう？



\*裏面に「北海道 子どもの生活習慣作り実行委員会」の資料を載せました。

## SNS の利用開始時に適切なプライバシー設定を行う

SNS やチャットアプリを使わせる場合、保護者が最初に適切な公開範囲設定などを行いお子さんと一緒にプロフィールに記載する内容を確認してください。SNS ユーザの中には公開された投稿やプロフィールの内容を手がかりに悪意を持って近づいてくる犯罪者がひそんでいることをお子さんに理解させましょう。



## 家庭で話し合い ルールをつくる

インターネット端末を使っていい時間帯と場所を決めておくことが大切です。ルールを破ったときのペナルティもあらかじめ決めておき、メリハリをつけましょう。ホームネットワーク経由のネット利用時間にも制限をかけられるため、お子さんたちのネット依存リスクも軽減できます。

行動しなければ変わらない  
No Action, No Change!



大切な子どもたちの  
未来へ届けるメッセージ

# インターネットの何が危険なのかを知る

保護者の皆さんへ

## トラブル事例①

【他者の画像を掲載して炎上した事例】

高校生Aが見知らぬ他者の写真を無断で撮影し、中傷するコメントを付けてAのツイッター上に掲載したところ、第三者から掲示板サイトで不適切な行為であると非難され、過去のAの書き込みから本名や在籍する学校名、過去の担任などのほか、ツイッター上に掲載していた本人や家族の写真を掲示板にさらされた。さらに、こうした状況について学校や教育委員会へ問合せが寄せられた。

## トラブル事例②

【非公開のSNS上に掲載した写真が流出した事例】

高校生Bが自身の飲酒している写真を、登録したメンバーだけが見ることのできる非公開のSNS上に掲載したところ、第三者がその書き込みと写真をスクリーンショットで画像として記録し、その画像をBの本名と在籍学校名などとともに、拡散させる目的でツイッター上に公開した。

## トラブル事例③

【特定の児童への中傷を掲示板に掲載した事例】

小学生Cに対して、同級生と思われる第三者が掲示板サイトにCを中傷する書き込みを行ったところ、書き込みを行った第三者に対して、別の者から中傷する書き込みが行われた。

## トラブル事例④

【SNS上の書き込みから実際のトラブルに発展しかけた事例】

中学生Dのグループと高校生Eが互いに、SNS上に悪口を書き込んだことをきっかけに、SNS上でトラブルとなり、EがDらを呼び出そうとする事態となった。ネットパトロールにより実際のトラブルが発生する前に状況を把握し、中学生Dが在籍する学校の指導により、実際のトラブルを未然に防ぐことができた。

## フィルタリング機能を設定して子どもを守る

### ●ご存知ですか？

子どもを有害な情報から守るため、18歳未満の子どもが使用する携帯電話やスマートフォンを購入する際、法律や条例でフィルタリングの設定が義務づけられています。

《保護者が使用していた携帯電話やスマートフォンを子どもに使用させる場合も同様です。》

### ●フィルタリング機能の設定で安全に

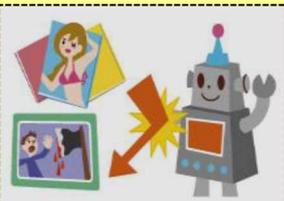
フィルタリング機能は、インターネット上の子どもたちに見せたくない有害な情報が含まれるサイトへのアクセスを制限する機能です。

インターネットによるトラブルから子どもたちを守るためには、保護者自身がインターネット上に有害な情報があることやトラブルに巻き込まれるなどの危険性があることを認識し、子どもが使用するパソコンや、スマートフォン、携帯電話などにフィルタリング機能を設定しましょう。

### 〈制限分野の例〉



熱中・時間浪費の可能性のあるサイト  
(懸賞・ゲーム・動画など)



本来は成人向きであり、  
知識・経験・判断力を要するサイト  
(グラビア・ホラー映画・超常現象・  
パロディ・極端な主張など)



不適切コンテンツ・サイト  
(違法・薬物・自殺・出会い・恐怖・  
ポルノ・ギャンブル・飲酒・喫煙など)